

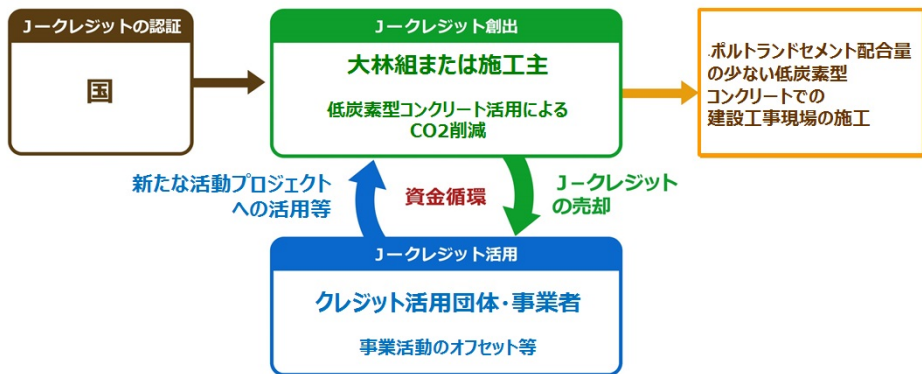
# 低炭素型コンクリートの活用でCO2排出量を削減し、J-クレジット化！ より一層の普及拡大への原動力に！



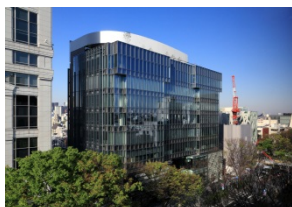
株式会社大林組

実施地域：全国

## ■ 取組概要



大林組は保有技術である低炭素型コンクリート「クリーンクリート」を普及拡大することでコンクリート製造時のCO2排出量を削減し、J-クレジットを創出します。事業活動におけるオフセットや新たにプロジェクトを推進するためにJ-クレジットを活用し、低炭素社会の実現に貢献します。



施工事例（オフィスビル、商業施設）



施工事例（発電所）



施工事例（工場）

## ■ 制度参加のきっかけ・効果

### 低炭素型コンクリート「クリーンクリート」の利用推進プロジェクトで材料から！



大林組は中長期環境ビジョン「Obayashi Green Vision 2050」を推進し、CO2排出量削減に向けた取り組みとして「環境配慮型コンクリートの適用推進」を進めています。社会資本の整備は建設業の最も重要な使命の一つです。建設物の主要材料であるコンクリートに起因するCO2排出量を減らすことは低炭素社会の実現、さらには持続可能な社会の実現に貢献するものと考えています。

保有技術である低炭素型コンクリート「クリーンクリート」は通常のコンクリートに比べてポルトランドセメントの配合量を減らし、産業副産物である高炉スラグに置換えることで製造時のCO2排出量を削減します。2011年の初適用以来、普及拡大を進めていますが、今回CO2排出削減量をクレジット化することで、活用するインセンティブを明確にしてより一層の普及拡大への原動力にするべくJ-クレジットに参加しました。

大林組は低炭素型コンクリート「クリーンクリート」を適用した建設物を社会に提供することで社会資本整備の一翼を担い、かつ低炭素社会の実現に寄与してまいります。

株式会社大林組 環境部長 漆崎 昇

## ■ 方法論：EN-S-040

### ポルトランドセメント配合量の少ないコンクリートの打設

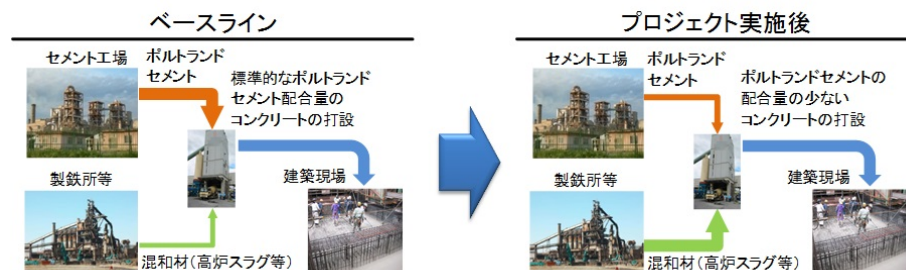


Photo by (c)Tomo.Yun <http://www.yunphoto.net> ※ポルトランドセメントと混和材は、上図のように生コンクリート工場で配合される場合の他、セメント工場で配合される場合もある。

## ■ CO<sub>2</sub>排出量削減見込量：約600t-CO<sub>2</sub>（2016年度）

